

会社概要



ペリー来航の1年前、嘉永5年
奥州街道郡山宿で柏屋は誕生しました。

社名	株式会社 柏屋
代表者	本名 創
創業	嘉永 5年(1852年)7月
設立	昭和27年(1952年)7月
資本金	3000万円
従業員数	396名(2025年10月1日現在)
事業内容	和洋菓子の製造販売
店舗数	21店舗(直営19店舗、フランチャイズ2店舗)
生産拠点	本社工場(郡山市)／旬菓工房(三春町)



プロフィール



株式会社 柏屋 代表取締役社長 本名 創

【プロフィール】

菓子屋の柏屋として六代目
本名家としては二十一代目
2021年8月30日社長就任

- ・1980年9月29日生まれ
- ・福島県郡山市
- ・趣味は食べ歩き、音楽、ダイエット、サウナ



これまでの環境配慮の取組



・2022年3月 SDGs宣言（環境への配慮）

①プラスチックスプーン廃止、有料木製スプーン・フォーク導入

②檸檬（れも）用フォークの廃止

③ビニール手提げ袋の廃止、紙製手提げ袋の有料化

SDGs宣言
株式会社柏屋
2022年3月

当社は、経営理念である われらの屋座の第一条
「われらは すぐれた食品とかがりない幸福を社会に提供する」のもと
事業活動を通じて持続可能な社会を実現するため、下記の取り組みを実施
していくことを宣言します。

フードロスの削減

- ・賞味期限および販売日限の長期化に取り組み、食品ロスを削減する
- ・商品廃棄量を把握し、削減計画を策定、実行する
- ・子ども食堂、フードバンク等への寄付を継続していく

社会貢献活動

- ・古いおの活動を通し、子供の心の健やかな成長に寄与する
- ・献茶会を通し、年齢も性別も立場も関係なく全ての方が交流できる場を提供する

環境への配慮

- ・プラスチック容器使用量削減及び再生可能素材利用の促進
- ・新商品、サービス開発等にあたり環境に配慮した素材を積極的に活用する
- ・エネルギー使用の効率化を図る

働きやすい環境の整備

- ・部門、役職に合わせた階層別研修体制の導入により、従業員自身が成長を実感できる職場を目指す
- ・国籍、性別、年齢等にかかわらず従業員全員が働きがいのある職場をつくる

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

SDGsとは、2015年に国連で採択された「持続可能な開発目標」です。17の目標と169のターゲットから構成されており、2030年の達成に向けて国・企業・個人など様々なレベルでの取組が求められています。



これまでの環境配慮の取組



• その後も新たな取組に着手

2021年6月～：スマートパック導入
食品ロス削減、パッケージの省プラスチック化

- ・消費期限8日⇒30日間延長、薄皮饅頭棄量93%削減（年間2.76 t）
- ・荷崩れ防止の仕切り廃止、1パックあたりプラスチック使用量11%削減

SDGs宣言
株式会社柏屋
2022年3月

当社は、経営理念である「われらの屋敷の第一業」「われらは すぐれた食品とかがりない幸福を社会に提供する」のもと事業活動を通じて持続可能な社会を実現するため、下記の取り組みを実施していくことを宣言します。

フードロスの削減

- ・賞味期限および販売日限の長期化に取り組み、食品ロスを削減する
- ・商品廃棄量を把握し、削減計画を策定、実行する
- ・子ども食堂、フードバンク等への寄付を継続していく

社会貢献活動

- ・若い世代の活動を通じ、子供の心の健やかな成長に寄与する
- ・献金会を通じ、年齢も性別も立場も関係なく全ての方が交流できる場を提供する

環境への配慮

- ・プラスチック容器使用量削減及び再生可能素材利用の促進
- ・新商品、サービス開発等にあたり環境に配慮した素材を積極的に活用する
- ・エネルギー使用の効率化を図る

働きやすい環境の整備

- ・部門、役職に合わせた階層別研修体制の導入により、従業員自身が成長を実感できる職場を目指す
- ・国籍、性別、年齢等にかかわらず従業員全員が働きがいのある職場をつくる

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

SDGsとは、2015年に国連で採択された「持続可能な開発目標」です。17の目標と168のターゲットから構成されており、2030年の達成に向けて国・企業・個人など様々なレベルでの取組が求められています。



2025年5月 /

すべての薄皮饅頭で
スマートパックを導入



これまでの環境配慮の取組

• その後も新たな取組に着手

2022年6月～：商品パッケージの省プラスチック化

檸檬パッケージフィルム使用量1個あたり30mm削減（17%削減）



本社、工場のLED化、省エネ啓発の掲示

SDGs宣言
株式会社柏屋
2022年3月

当社は、経営理念である「われらの屋敷の第一業」「われらは すぐれた食品とかがりない幸福を社会に提供する」のもと事業活動を通じて持続可能な社会を実現するため、下記の取り組みを実施していくことを宣言します。

フードロスの削減	社会貢献活動
- 賞味期限および販売日限の長期化に取り組み、食品ロスを削減する - 商品廃棄量を把握し、削減計画を策定、実行する - 子ども食堂、フードバンク等への寄付を継続していく	- 若い世代の活動を通じ、子供の心の健やかな成長に寄与する - 朝来会を通じ、年齢も性別も立場も関係なく全ての方が交流できる場を提供する

環境への配慮	働きやすい環境の整備
- プラスチック容器使用量削減及び再生可能素材利用の促進 - 新商品、サービス開発等にあたり環境に配慮した素材を積極的に活用する - エネルギー使用の効率化を図る	- 部門、役職に合わせた階層別研修体制の導入により、従業員自身が成長を実感できる職場を目指す - 国籍、性別、年齢等にかかわらず従業員全員が働きがいのある職場をつくる

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

SDGsとは、2015年に国連で採択された「持続可能な開発目標」です。17の目標と169のターゲットから構成されており、2030年の達成に向けて国・企業・個人など様々なレベルでの取組が求められています。

モデル企業応募のきっかけ

!!
プラスチック
削減

!!
食品ロス
削減



?
エネルギー使用量
温室効果ガス排出量
削減 ?

- 更なる取組として、
脱炭素経営へのチャレンジ
(温室効果ガス排出量削減)
- エネルギーコスト削減と環境配慮の
両立を目指す
 - 見える化：定量的に取り組みたい
 - 従業員の意識付け：会社全体で取り組みたい
- 東邦銀行様の支援を受けてチャレン
ジを決意

省エネ診断による気づき

課題や改善点が“見える化”できた

- 工場設備更新によるエネルギー削減効果を把握
- 直営路面店16店舗毎に管理していた照明のLED化状況を集約化

“なんとなく省エネ”から“数字で管理する省エネ”へ

- 削減効果や実績を示すことで、省エネ活動を活発化
- 従業員の意識改革に繋げたい



2050年カーボンニュートラルを目指して



短期

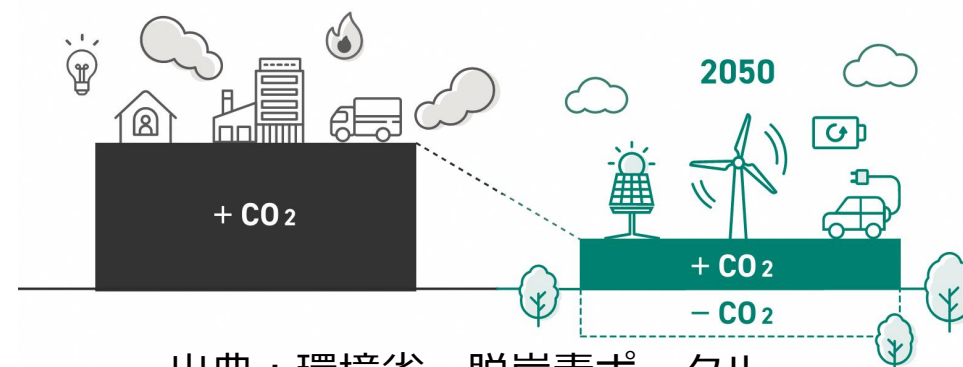
- 脱炭素計画書の策定
- 計画的な照明 L E D 化の推進

中期

- 再生可能エネルギー導入の検討
- 設備の更なる省エネルギー化

長期

- 2050年カーボンニュートラル



出典：環境省 脱炭素ポータル

地域とともに、人にも地球にも優しい持続可能な経営を目指していきます